

平成27年度 おおさか環境にやさしい建築賞 表彰候補建築物 採点結果一覧表

No.	7	表彰部門	事務所						
建築物名称	宇治電ビルディング								
建築主	関電不動産(株)								
設計者	(株)日本設計								
建設地	北区西天満4丁目								
建物用途	事務所、物販店舗								
ランク	S	BEE値	3.7	公表	H24-102	完了年月	26年10月	受付	H24-74
大阪市の重点評価	CO2削減	4.0	省エネ	4.0	みどり・ヒートアイランド	3.0			

【CASBEE大阪みらいの総合評価】

(BEE値を15点満点に換算)	14 / 15	A
-----------------	---------	---

【大阪市の重点評価項目の評価】

(重点項目3項目の点数換算値の平均)	3.3 / 5	B
--------------------	---------	---

【設計上の配慮事項等の評価】

①独創性・先進性		
<ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫がなされ独創的な取組があるか ・新しい技術が活用され先導的取組があるか ・ガラスばりのエコボイド。窓の縦フレームの自然換気。省エネにはどうか？ ・30°のビル風対策 ・機能性は重視されているが、関電のデータのメリットを活かすと、もう少しチャレンジングな試みがあってもいいのでは。 ・旧ビルにあった建物中央部の吹き抜けを新ビルではガラス張りのエコボイドとして設けて自然換気・自然採光を活用している。 ・外壁にフィンを設置して直射光を遮断するとともに、窓際下のエアフローシステムやサッシのスリットから外気を導入したり手動の自然換気スイッチを設けるなど、気候に合わせたきめ細かな省エネが可能となっている。 ・カーテンウォールに自然換気機構を組み込み、外部のアルミフィンにより風を呼び込む機構は独創的な取り組みである。 ・日射方向を考慮したカーテンウォールデザイン。(風洞実験実施) 	平均点 (平均評価点)	
	4.2 (2.8)	
②調和性・統合性		
<ul style="list-style-type: none"> ・計画内容は合理的で効率的か ・計画内容は、建築デザインにうまく取り込まれているか。 また、周辺まちなみとの調和を図っているか 	平均点 (平均評価点)	
<ul style="list-style-type: none"> ・一般的である。 ・旧来と比べかなりボリューム感がある。 ・旧ビルのレリーフの再利用やデザインモチーフを採用したり低層階の外壁の色やテクスチャーを旧ビルに類似させるなど景観への配慮や歴史性の継承を行なっている。 ・色彩計画において日本の伝統色を意識した計画を行なっている。 ・高効率ヒートポンプ、カーテンウォールとエコボイドを用いた自然換気機構、高性能の建物外皮など、費用対効果の高い環境技術を総合して、一次エネルギー消費の大きな削減効果を達成した。 ・旧ビルの歴史性を継承した平面計画、隅切り、オブジェ配置。 	4.0 (2.7)	
③取組姿勢		
<ul style="list-style-type: none"> ・建築主の環境配慮への積極的な取組姿勢が窺えるか。 また、その取組姿勢が、他の建築主の規範となりうるか 	平均点 (平均評価点)	
<ul style="list-style-type: none"> ・旧ビルのイメージを残すことに苦労していることはよく分かる。環境という意味ではどうか。 ・合理的にできることをやろうという姿勢が認められる。 ・外壁の高性能化による省エネやエコボイドのある平面計画など環境を意識した取組がうまく建築デザインに取り入れられており、意識の高さを感じる。 ・街並みの景観に寄与する構築物、また自然エネルギーを活用した次世代オフィスを意図して建物計画が進められており、建て主の環境に対する意識がここに現れている。 ・自然換気シミュレーション。 	4.2 (2.8)	

合計	12.4	平均評価点	8.3 / 10	C
----	------	-------	----------	---

評価点の合計 25.6